



浜松市博物館情報



Hamamatsu City History Museum News

2024.8.15

No.363

傷ついた古文書を救う

現在まで残されてきた古文書の中には、損傷したものも多くみられます。古文書が受けた損傷として挙げられるのは、虫等の生物やカビによる損傷、水害や火災による損傷等があります。

古文書を調査していると、穴があいているものをみかけることがあります。これは虫が古文書を食べた跡です。古文書は基本的に紙に文字が書かれているものです。また、中には紙と紙とをのりで貼り継いでいるものもあります。紙のりは虫にとっての大好物です。そのため、虫による被害が起きてしまいます。



虫食いがある古文書

これらの損傷のしかたも、古文書を傷つける虫によって異なります。トンネル状に穴を開けていくシバンムシや古文書の表面をなめていくように傷つけていくシミ、さらには大きなくかじったような穴をつくるゴキブリ等

がいます。

虫が古文書を食べると、古文書に穴があき、書かれている文字が読めなくなったり、紙の強度が落ち、保存が難しくなったりします。さらに、虫が出す糞により紙と紙とが固着してしまい、折りたたまれた古文書や冊子のかたちの古文書を開くことができなくなってしまう。

このような被害から古文書を守るためにはどのようなしたらよいでしょうか。まずは、古文書が損傷する可能性が高い環境をなるべく作らないことが大事です。湿度が高い場所では、カビが発生する可能性が高まりますし、古文書を損傷させる虫が好む環境でもあります。このような状況を避けるためには、温湿度が管理できる場所で古文書を保管するのが理想的ですが、古文書の保管場所に湿度がたまらないようにしたり、定期的に虫やカビの害がないか確認し、被害があれば措置をしたりすることで、被害を受ける可能性や、被害を受けたとしてもその程度を低減できます。他にも虫やカビの栄養源となる食品等を近くに置いておかないことも重要です。

万一、虫やカビ等の被害にあった場合でも、応急処置をして適切に保管をしていけば保存していくことはできます。虫の糞で固着した古文書はへうで剥離していけば開くことができます。また、古文書の一部が虫食いによる欠損がある場合でも、応急的にでんぷんのりと和紙とを用いてつないでいたり、必要に応じて繕いや裏打ち等をしたりすることも検討します。

また、近年水害の発生が多くなり、古文書が水に浸かってしまう可能性が高くなっています。水に浸かって紙が水分を含んだままになっていると、カビの発生する可能性が高くなります。カビもまた古文書を損傷させるものです。

水害で水に浸かった古文書についても、洗浄を行うことや、キッチンペーパー等で吸水したり、送風を行い乾燥させたりすれば古文書を救うことができます。すぐに洗浄や吸水、乾燥ができなくても凍結させることによりカビの発生を抑えられます。

他にも火災により、古文書の焼失や一部を欠損する被害の可能性があり、火災への対策が重要になります。

歴史を知る手がかりとなる古文書を損傷させる危機は高まっていますが、浜松市博物館でも市民のみなさんとも協力して古文書を守っていく取り組みを進めていきます。

【博物館所蔵資料の紹介】 浜松尋常高等小学校の「校訓」



明治 32 年（1899）の浜松尋常高等小学校（中央区元城町）の校訓です。

冒頭に教育勅語を掲載するとともに、校訓とその説明、生徒の心得、生徒衛生心得、学用品の注意を掲載しています。

校訓は 5 つの項目から成っています。その説明もふまえてまとめると 1 つ目は、教育勅語を守ること、2 つ目は学校生活のよりどころとなる校則を守るとともに父母や教師に従うこと、3 つ目は「智慧」のみならず「行儀」も修めて学校生活を送ること、4 つ目は集団生活を送る学校を家族に例え、年長者は年少者を愛し、年少者は年長者を敬うこと、学友の交際は社交の始めであること、「公共の心」をもつこと、5 つ目では男子は勤勉廉直等の徳を備え、成長後は「良主人」、「良国民」となり、想定される困難に負けないよう体と心を健やかにすることを説いています。

他にも生徒心得や生徒衛生心得、学用品の注意ではかなり細かく注意事項を定めています。たとえば「呼吸は成丈け鼻よりするの癖をつくべし」、「鼻汁ハ気を付けてよくかむべし」、「戯れにも他人の眼鏡を借用すべからず」というようなものもあります。

また、授業で使用する石盤および石盤拭きは 5 銭程度のものを使用することという学用品の値段の目安の定めもあります。

現在にも通じる定めがある一方で、当時は生徒個人の生活も細かく「校訓」で定めていることもうかがえます。

催し物のご案内

★テーマ展「天竜川西岸の古墳時代」

開催中～9月16日(月)

天竜川西岸の古墳や遺跡の出土品を展示しながら、当時の地域社会や文化について紹介します。

【関連事業】

- ・現地見学会「内野古墳群をめぐる」

日時 9月14日(土) 10:30～12:30

定員 30人（要申込、抽選）

★小展示「市民ミュージアム浜北巡回展」

開催中～9月23日(月)

改修工事のため休館している市民ミュージアム浜北の所蔵資料を、浜松市博物館を皮切りに巡回展示します。

★夏休み体験館

開催中～8月18日(日)

- ・蛸塚の縄文ツアー 8/15(木)当日整理券

- ・鹿形埴輪ギャラリートーク

8/15(木)当日整理券

- ・歴史マグネットづくり 8/16(金)

- ・展示ガイドツアー 8/16(金)～18(日)

- ・缶バッジ、缶マグネットづくり 期間中毎日

- ・クイズラリー 期間中毎日

★自由研究優秀作品展

10月8日(火)～10月27日(日)

市内の小・中学生による自由研究の優秀作品を展示します。

★かやぶき屋根の下で聞く日本の昔ばなし

9月14日(土)、10月12日(土)

14:00 から 30 分程度

会場 旧高山家住宅（蛸塚公園内）

参加無料

事前申込不要



★観覧無料日

8/21(水)県民の日

※8/21 蛸塚遺跡ガイドツアー 10:00～11:00

※各事業の詳細は、HP や SNS でご確認ください。

※イベントは、変更、中止になる場合があります。

左から
ホームページ
X（旧ツイッター）
Instagram



浜松市博物館

開館時間：9時～17時

8月～10月の休館日：8/19,26 9/2,9,17,24,25,30 10/7,15,21,23,28

〒432-8018 浜松市中央区蛸塚四丁目22番1号

電話：053-456-2208

FAX：053-456-2275

Eメール：hamahaku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

HP：https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/hamahaku/